



knt!

近畿日本ツーリスト株式会社
株主通信 第74期 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

knt! NEWS | トピックス

2011.7月 旅の発見 日帰り温泉専用のAndroidアプリ「温泉日帰りプラン」をリリース!
また、スマートフォンでの閲覧、予約に適した専用サイトも同時OPEN!!

2011.8月 岩手県陸前高田市
「陸前高田市復興街づくりイベント公式ツアー」
8月27日(土)・8月28日(日) 開催!!

2011.9月 KNT・日本旅行 コラボ企画
「地域を元気にするプロジェクト」第2弾
「ぎ・ら・り 三重」販売開始

2011.12月 中国→日本に渡航する
「訪日個人旅行者(FIT)中国の富裕層向けフリーマガジン
「日本自游行PREMIUM」(簡体字版)を創刊
安心とこだわりの旅館・ホテル ラインナップが自慢!
旅行ギフト商品
「TABIPRE」-選べる旅の贈り物- 販売開始!



代表取締役社長

吉川 勝久

株主の皆さまには平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年12月31日をもちまして第74期の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

事業の概況

(平成23年1月1日から平成23年12月31日まで)

当期のわが国経済は、東日本大震災の影響および国際的な金融不安、急激に進行した円高等により、雇用情勢や個人消費は依然として厳しい状況のうちに推移しました。

旅行業界におきましては、震災以降は旅行のキャンセルや出控え、訪日旅行の取止めにより、旅行需要が大きく落ち込みました

が、夏以降は海外旅行を中心に持直しの傾向が見られました。

このような情勢のもと、当社では、インターネット販売の体制強化やスポーツビジネスの推進など、販売構造の革新を鋭意進めました。

団体旅行事業におきましては、全国横断型組織の強みを活かした営業活動の展開により、法然上人800年、親鸞聖人750年の遠忌法要の参拝旅行において、大きな成果を収めることができました。また、スポーツを通じた地域振興事業として、大阪マラソン、神戸マラソンのほか、建設中の新東名高速道路におけるサイクルレース「ふじのくに CYCLE FES.2011 in 新東名」等を取り扱い、事業領域の拡大にも努めてまいりました。

個人旅行事業におきましては、個人旅行事業本部カンパニーを新設し戦略機能を強化するとともに、インターネット専用商品の企画および販売を行う専門部署を設置し、インターネットの特性である即時性を活かした商品の拡充を図りました。

一方、震災への対応として、被災地の支援と旅行需要の活性化を図る取組みを進め、被災地へのボランティアツアーや、地元の産物や全国の商店街からの協賛品等を販売する復興市を応援するバスツアー等を

実施いたしました。また、東北夏祭りのツアーを企画販売したほか、休暇の長期化等のニーズにあわせた長期滞在型商品の販売拡大を図りました。

さらに8月には新しいコンピュータシステムをリリースし、これを活用することによりお客さまに提供する情報やサービスの品質向上を進めました。

費用面におきましては、震災による収益減に対する緊急対策として、人件費や広告宣伝費をはじめとした諸経費の削減を実施いたしました。

これらにより連結・個別とも当期純利益を計上することができましたが、財務基盤の強化を図るため期末配当は見送らざるを得ない状況でございます。

株主の皆さまには深くお詫びを申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績は、次のとおりです。

	業 績	前期比
営業収益	56,556百万円	11.0%減
営業利益	1,132百万円	30.8%減
経常利益	1,270百万円	19.2%減
当期純利益	711百万円	126.2%増

対処すべき課題

今後につきましては、原子力災害の影響に加え、海外景気の下振れ懸念や円高の進行などにより、景気の動向は非常に不透明で、予断を許さない状況が続くと予想されます。このような中、当社および当社グループでは、最小単位である箇所ごとに利益を創出する「自立経営」とグループ内に蓄積しているノウハウや知恵を共有するための「連携強化」を両立し、安定した収益基盤を確立するために、より一層の事業構造改革を進めてまいります。

当社では、平成24年1月より、団体旅行事業部門および個人旅行事業部門の2部門体制に再編し、お客さまのニーズと市場の変化に柔軟に対応し、新たな市場を開拓してまいります。

団体旅行事業におきましては、組織再編により統合した各組織の情報やノウハウを

共有化することにより営業力の強化を図るとともに、大都市を中心とした法人・団体等への提案型営業の拡大、教育分野におけるスポーツ・文化イベント関連旅行やスポーツを切り口とした地域振興・コンサルティング業務等の需要開拓にも、引き続き取り組んでまいります。

個人旅行事業におきましては、最重要課題としてインターネット販売の拡大に取り組み、利用者が急激に増加しているスマートフォンに対応したアプリケーションと商品の開発にも注力してまいります。また、新しい会員組織を立ち上げ、会員サービスの充実により新規のお客さまの獲得とリピート率の向上を図ります。

当社グループでは、平成24年1月に当社および株式会社KNTツーリストから東北、中国四国地区における旅行事業をそれぞれ承継した株式会社近畿日本ツーリスト東北

および株式会社近畿日本ツーリスト中国四国ならびに当社から北海道、九州地区における個人旅行事業等をそれぞれ承継した株式会社近畿日本ツーリスト北海道および株式会社近畿日本ツーリスト九州において、徹底した地域密着営業による地域への貢献と安定利益の確保に努めてまいります。さらには、商事事業の専門会社として設立した株式会社近畿日本ツーリスト商事においては、独自の営業展開を進めてまいります。

なお、適正規模かつ効率的な本社機能を確立するため、平成24年2月に本社を移転いたしました。

これらの施策を迅速に実施し、グループ全体の収益力向上に努め、業績の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スポーツで街を元気に!



KN Tでは、スポーツによる地域振興やコンサルティング業務など、スポーツ事業の強化に取り組んでいます。

昨年7月から8月にかけて北東北(青森・岩手・秋田)で開催された「平成23年度全国高等学校総合体育大会(高校総体)」では、宿泊斡旋業務を受託しました。震災により競技施設が大きな被害を受けたため、競技日程に一部変更があったものの、無事、成功の一助を担うことができました。

また、関西の三都マラソン(大阪マラソン(昨年10月30日開催)、神戸マラソン(昨年11月20日開催)、京都マラソン(本年3月11日開催))や東京マラソン(本年2月26日開催)での宿泊手配や海外ランナー誘致活動など、大会運営に携わることに

スポーツイベントへの取組みを強化



より、各マラソン大会の国際的魅力的の向上に寄与しました。これらの経験をステップとして、この分野でのリーディングカンパニーとしての

地位を確立していきます。

昨年11月26日、27日には、新東名高速道路開通イベントの一つである「ふじのくに CYCLE FES. 2011 in 新東名」の企画・運営を行いました。同イベントは、新東名高速道路本線上を自転車で走れる、一生に一度限りのサイクルフェスタとして、大いに盛り上がりを見せました。

本年7月27日から開催される「ロンドンオリンピック」においては、日本オリンピック委員会の公式旅行代理店として積極的なセールス活動を行っております。

中国の富裕層向けフリーマガジン「日本自游行PREMIUM」を創刊



KN Tグループ会社の(株)ティー・ゲート(株角川マガジンズと共同出資)は、中国の富裕層向けフリーマガジン「日本自游行PREMIUM」(簡体字版)を12月に創刊しました。

日本のラグジュアリーブランドやホテル、エンターテインメントなどエグゼクティブな情報を掲載。ぜひ日本を訪れたいという思いを掻きたてるような内容満載で大都市(北京・上海・広州・大連の4都市)在住の富裕層に配布しています。



安心とこだわりの旅館・ホテルのラインナップが自慢!

選べる旅の贈り物 「TABIPRE」を発売

旅行ギフトの新商品「TABIPRE(タビプレ)」の販売を開始しました。「TABIPRE」は“旅”“プレゼント”をイメージしたネーミングで、北海道から沖縄まで、日本全国から厳選したKNTならではのこだわりの75軒から、「ペアご宿泊券」または「お食事券」として受け取られた方のお好みに合わせてご利用いただけるギフト券です。大切な方への贈り物やお祝、各種イベントの景品として喜ばれています。

お申込みは、専用サイトから

<http://www.knt.co.jp/tabipre/gift/>



スマートフォン向け宿泊予約サービス

スマートフォン向け アプリを展開中!

KNTではスマートフォン向けアプリ(iPhone版・Android版)対応の宿泊予約サービスを配信しています。

KNTのインターネット専用の現地払い宿泊プラン「Eクーポン」に対応しており、日付・目的地などからの検索のほかホテル・旅館名、プラン名からの検索ができ、そのまま予約も可能です。

また、(株)ティー・ゲートが展開する体験型&着地型旅行商品を扱うトラベルサイト「旅の発見」では、日帰り温泉プランをこだわり条件で検索できる日帰り温泉専用アプリをリリースしました。

スマートフォン向けアプリの機能については、引き続き提供商品の拡大や機能の向上を図っていく予定です。



東日本大震災復興支援

日本を元気に、旅で笑顔に。

KNTグループでは、引き続き社員ボランティア活動を通じ、被災地復興を支援しているほか、さまざまな被災地支援ボランティアツアーを企画・実施しています。通常のボランティアツアーの他、ボランティア+東北六魂祭見学のツアーや、マッサージ施術士、手芸の先生などのスペシャリストを派遣するツアーも設定。被災地の皆さんとのコミュニケーションをより充実させることができました。また、グアムの現地法人ホリデイツアーズミクロネシアでもボランティアツアーを企画し、現地から来日した約30名の



方々とホテルのがれき撤去等を行いました。

このほか、「がんばろう! 東北」宿泊プラン等の東北復興支援プランも発売しました。

KNTでは今後も、復興支援活動を続けていきます。



KNT!

Review of Operation

販売の状況

国内旅行

団体旅行につきましては、東日本大震災の影響を大きく受けましたが、一般団体では、遠忌法要の参拝旅行やマラソンなど宗教やスポーツの大型イベントに積極的に取り組んだ結果、前年とほぼ同様の結果を残すことができました。学生団体は、全国高等学校総合体育大会等の取扱いがあったものの、修学旅行の取止め等の影響もあり、前年をやや下まわりました。

個人旅行につきましては、メイトは、九州新幹線の全線開業によって、九州方面への商品が全国的に前年を上まわりましたが、首都圏方面での商品が震災の影響により大きく減少したため、全体として前年を下まわりました。

海外旅行

団体旅行につきましては、オリンピック等の大型国際イベントがなかったことに加え、震災および円高に起因する企業の業績不振などから、法人の視察旅行や招待旅行が振るわず、前年を大きく下まわりました。

個人旅行につきましては、ホリデイは、韓国・台湾を中心と

したアジア方面が好調で、また、インターネット専用商品「クリッキー」は商品数を大幅に増やし、売上げを伸ばしましたが、全体では燃油サーチャージ高騰等の影響で前年を下まわりました。

外国人の訪日旅行は、3月以降大きく減少し、極めて厳しい状況で推移いたしました。

その他

旅行関連サービス業につきましては、積極的な外部需要の取込みにより、前年を上まわりましたが、人材派遣業、旅行関連物品販売業および損害保険業につきましては、国内旅行、海外旅行の減少に伴い、前年を下まわりました。

これらの結果、それぞれの営業収益は、次のとおりです。

	営業収益	前期比
国内旅行	37,282百万円	11.7%減
海外旅行	22,895百万円	11.5%減
その他	7,024百万円	8.8%減
消 去	△10,645百万円	—
合 計	56,556百万円	11.0%減

連結財務諸表

(単位:百万円)

流動資産	66,394
固定資産	26,369
有形固定資産	4,543
無形固定資産	8,137
投資その他の資産	13,688
資産合計	92,763
流動負債	84,322
固定負債	5,512
負債合計	89,835
株主資本	3,256
その他の包括利益累計額	△404
少数株主持分	75
純資産合計	2,927
負債および純資産合計	92,763

営業収益	56,556
営業費用	55,423
営業利益	1,132
営業外収益	461
営業外費用	323
経常利益	1,270
特別利益	326
特別損失	556
税金等調整前当期純利益	1,040
法人税、住民税及び事業税	435
法人税等調整額	△72
少数株主損益調整前当期純利益	677
少数株主損失	33
当期純利益	711

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取扱いツアー



実績と信頼の
国内パッケージツアー
「**メイト**」



驚きの価格でお得なコースの
海外旅行を提供する
インターネット専用プラン「**クリッキー**」



多彩なプランと快適な
海外パッケージツアー
「**ホリデイ**」



訪れた地での幅広い過ごし方を
提案、紹介するサイト
「**旅の発見**」 <http://tabihatsu.jp>

弊社サイトのご案内

旅行プランのオンライン検索・予約のほか、
充実した関連サービスをお届けしています。
<http://www.knt.co.jp>

会社案内・IR情報ページでは、
経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。
<http://www.knt.co.jp/kouhou>



会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社
設立	昭和22年5月
創立	昭和30年9月
本社	東京都千代田区東神田一丁目7番8号 東神田フコク生命ビル ※平成24年2月27日に本社を移転いたしました。
資本金	7,579百万円
発行済株式総数	96,175,121株

取締役および監査役（平成24年3月29日現在）

取締役会長	山口 昌紀	取締役	田ヶ原 聡
代表取締役社長	吉川 勝久	取締役	向山 秀昭
代表取締役専務	馬越 俊司	取締役	西野日 信雄
常務取締役	市井 正之	取締役	辻本 博圭
常務取締役	遠藤 昭夫	監査役(常勤)	中辻 康裕
常務取締役	小川 亘	監査役(常勤)	富田 誠司
取締役	野中 雅彦	監査役	岸田 雅雄
取締役	今井 克彦	監査役	植田 和保
取締役	權田 昌一		

株主メモ

単元株式数	1,000株
事業年度	1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日
定時株主総会	3月中
公告方法	電子公告 http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載
上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(0120)232-711

株主優待の ご案内



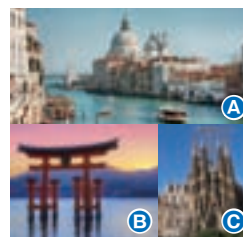
毎年6月末および12月末現在、当社株式を1,000株以上
ご所有の株主さまに、「ご旅行優待券」を2枚お送りいたします。
「ご旅行優待券」は、当社企画旅行商品「メイト」および
「ホリデイ」に有効で、ご旅行代金の5%を割り引かせていた
だきます。「ご旅行優待券」をご利用いただけるのは、当社、
KNTツーリスト、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツー
リスト東北、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリス
ト九州、近畿日本ツーリスト神奈川および昭和トラベラーズ
クラブの全国各支店・営業所ならびに当社ホームページで
す。その他の旅行代理店ではご利用になれません。

なお、「ご旅行優待券」の発行時期および有効期限は次
のとおりです。

	発行時期	有効期限
6月末現在の株主さま	8月	翌年3月末日まで
12月末現在の株主さま	3月	9月末日まで

株式に関するお手続きについて

特別口座に登録された株式		お問い合わせ先
お手続き、ご照会等の内容 ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ●支払期間経過後の 配当金に関するご照会 ●株式事務に関する 一般的なお問い合わせ	特別口座の 口座管理機関 株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎(0120)232-711 [手続き書類のご請求方法] 音声自動応答電話によるご請求 ☎(0120)244-479 インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/
証券会社等の口座に登録された株式		お問い合わせ先
お手続き、ご照会等の内容 ●郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ●支払期間経過後の 配当金に関するご照会 ●株式事務に関する 一般的なお問い合わせ ●上記以外のお手続き、 ご照会等	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎(0120)232-711 口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



表紙の写真

- A 「ヴェネツィアとその潟」 イタリア
- B 「厳島神社」 広島
- C 「サグラダ・ファミリア」 スペイン



免責事項 本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。